

高野市長と語る ～みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち～



市政会：府中市の災害対策についてどのようにお考えですか？

市長：大規模で広域的な災害が発生した場合には、消防等の防災行政機関だけでは、全ての災害現場や被災者に迅速に対応することが困難となることが予想されます。そのため、地域住民の自発的な助け合い、共助による防災活動が重要となります。

市政会：共助による防災活動はどのように構築しますか？

市長：平成28年度から、市内11箇所の文化センター圏域毎に、圏域内の自治会等の代表者で構成される地域自主防災連絡会を創設し、市民が自ら主体的に「災害に強いまち」を作り上げる活動につなげていきます。

意見・要望：各地域がおかれている防災力の現状や課題を把握した上で、まちの特性に合わせた防災対策を進めていくとともに、研修の実施を通じて、主体的に取り組むリーダーを養成するように運営してください。

市政会：再開発事業の現状はどのようになっていますか？

市長：府中駅南口第一地区再開発事業は、来年7月の再開発ビルオープンを目指し計画的に工事が進められております。この再開発ビル建設とあわせて、道路、ペDESTリアンデッキなど公共施設の整備も進めております。

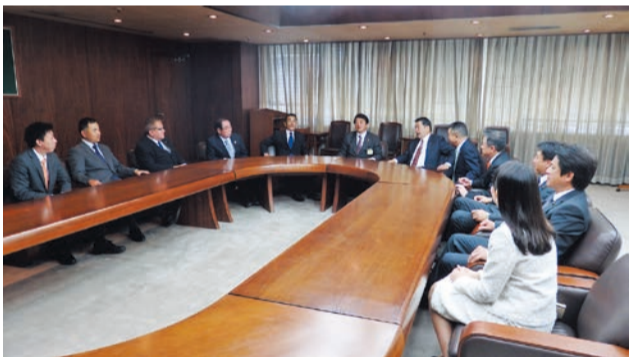
また、市では第一地区の再開発ビルに市民活動を支援、促進し、協働のまちづくりの中心拠点として市民活動支援センター、音楽活動を更に充実させる音楽練習室及び公共自転車駐車場を整備いたします。

市政会：再開発完成後の抱負についてどのようにお考えですか？

市長：この再開発事業により、府中駅周辺は、中心拠点にふさわしい商業・業務・公共公益の各施設が整備されるとともに、市の交通結節点としてターミナル機能をもった府中市の表玄関としてのまちづくりが完了いたします。

今後は、府中市全体がより活気ある地域となるため、その核として魅力と活力を創出する市の「顔」にふさわしい中心市街地の形成を目指してまいります。

意見・要望：府中駅周辺が市の活気を中心となり、市全体へその波及効果が及ぶ賑わいの創出を図っていただきたい。また、市の緑、歴史、文化を継承し、市民の皆様と共に将来の世代に引継ぐような取組みを推進してください。



市政会：空家等対策の推進に関する特別特措法が、平成27年5月に全面施行されましたが、府中市の空き家の状況と今後の対策についてどのようにお考えですか？

市長：府中市では、現在、80件ほどの荒廃した空き家を把握しています。市民の住環境に支障がある空き家の適正管理を推進するため、専門の見地から空き家対策を検討することを主な目的とする「府中市空き家等対策協議会」を設置するなど、全市的な体制を整備し対策を強化していきます。

意見・要望：今後の本市の空き家対策に係る計画の策定をしていくなかで適正管理がされていない空き家等をしっかりと把握していただき適切な対策をよろしくお願いします。

土屋正忠総務副大臣との政策研究会・総務省視察

- ・総務省を訪問し、消防防災・危機管理センター及び行政管理局を視察。行政管理局では、従来の座席固定方式、膨大な紙での資料の削減等、オフィス改革を行い、ペーパーレス化を推進していました。
- ・また、ひとり親家庭に支給される児童扶養手当につき、第2子以降の支給額を増額する法案等についての意見交換をしました。



宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センター視察

2016年3月、JAXAを訪問し、国際宇宙ステーションの日本実験棟における実験概要や、各種衛星の役割等、日本の科学技術戦略・施策に従った戦略研究の発展について視察しました。

